

スズキ、ミャンマーで「エルティガ」を生産・販売開始



スズキ株式会社のミャンマー子会社「スズキ・ミャンマー・モーター」（SMMC）社は本日、同社工場にて3列シートの7人乗り乗用車「エルティガ」の生産開始を発表した。7月末よりミャンマー国内のスズキ販売店にて販売を開始する。

スズキは「エルティガ」をインド、インドネシアでも生産しており、ミャンマーはアジアで3か国目の生産国となる。

SMMC はミャンマーでの四輪車生産と販売を拡大するためのラインアップ拡充の一環として、ヤンゴン郊外のサウスダゴンの工場で「エルティガ」の生産を行う。月間目標台数は100台を計画している。

「エルティガ」は3列シートにより7名が乗車できるコンパクトサイズのMPVモデル（多目的車）で、モダンなデザインに広い室内空間と居住性をもち、5.2mの最小回転半径により狭い路地や駐車場での取り回しのよさも兼ね備えている。

搭載する1.4リッターエンジンは優れた動力性能と燃費性能を両立し、スムーズな走行を実現している。

●スズキ・ミャンマー・モーター社 概要

社名： SUZUKI (MYANMAR) MOTOR CO., LTD. (スズキ・ミャンマー・モーター社)

設立： 2013年2月

所在地： ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン市サウスダゴン

生産車種： キャリイ (Carry)、エルティガ (Ertiga) 2015年7月より

生産実績： 2014年度 1,350台 (キャリイ)